

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【公表番号】特表2013-529916(P2013-529916A)

【公表日】平成25年7月25日 (2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-040

【出願番号】特願2013-514731(P2013-514731)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 7/08

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 37/64

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 K 31/713

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日 (2014.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アミノ酸配列：

G X₁ R P X₂ X₃ X₄ X₅ G G X₆ (配列番号 1)

(ここで、

X₁ は R 及び A からなる群から選択されるアミノ酸であり、

X₂ は除外されるか、又は L 及び V からなる群から選択されるアミノ酸であり、

X₃ は除外されるか、又は 1 個～5 個のアミノ酸からなるアミノ酸配列であり、

X₄ は除外されるか、又は G G からなるアミノ酸配列であり、

X₅ は A、I 及び S からなる群から選択される 2 つのアミノ酸であり、
X₆ は除外されるか、又は 1 個 ~ 5 個のアミノ酸からなるアミノ酸配列である) からなるペプチド。

【請求項 2】

R h o G T P アーゼの活性を阻害することが可能である、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 3】

X₁ が R である、請求項 1 又は 2 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 4】

X₂ が L 又は V である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 5】

X₃ が P P P である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 6】

X₄ が G G である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 7】

X₅ が I S 又は A S である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 8】

X₆ が除外される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 9】

X₁ が R であり、X₂ が L であり、X₃ が除外され、X₅ が I S であり、X₆ が除外されるか、又は X₁ が R であり、X₂ が V であり、X₃ が除外され、X₅ が I S であり、X₆ が除外される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 10】

上記ペプチドが、

G R R P L G G I S G G (配列番号 3)、
G R R P V G G I S G G (配列番号 6)、
G R R P L I S G G (配列番号 4)、
G R R P V I S G G (配列番号 7)、
G R R P L P P P I S G G (配列番号 8)、
G R R P V P P P I S G G (配列番号 9)、
G R R P L G G A A G G (配列番号 10)、
G R R P V G G A A G G (配列番号 11)、
G R R P L P P P A A G G (配列番号 12)、
G R R P V P P P A A G G (配列番号 13)、
G R R P L G G A S G G (配列番号 14)、
G R R P V G G A S G G (配列番号 15)、
G R R P L P P P A S G G (配列番号 16)、
G R R P V P P P A S G G (配列番号 17)、
G R R P L G G I A G G (配列番号 18)、
G R R P V G G I A G G (配列番号 19)、
G R R P L P P P I A G G (配列番号 20)、
G R R P V P P P I A G G (配列番号 21)、
G A R P L G G I S G G (配列番号 22)、
G A R P V G G I S G G (配列番号 23)、
G A R P L P P P I S G G (配列番号 24)、
G A R P V P P P I S G G (配列番号 25)、
G A R P L G G A A G G (配列番号 26)、
G A R P V G G A A G G (配列番号 27)、
G A R P L P P P A A G G (配列番号 28)、
G A R P V P P P A A G G (配列番号 29)、

G A R P L G G A S G G (配列番号 3 0) 、
G A R P V G G A S G G (配列番号 3 1) 、
G A R P L P P P A S G G (配列番号 3 2) 、
G A R P V P P P A S G G (配列番号 3 3) 、
G A R P L G G I A G G (配列番号 3 4) 、
G A R P V G G I A G G (配列番号 3 5) 、
G A R P L P P P I A G G (配列番号 3 6) 、及び
G A R P V P P P I A G G (配列番号 3 7)

からなる群から選択されるアミノ酸配列からなる、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 1 1】

請求項 1 ～ 1 0 のいずれか一項に記載のペプチドをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 1 2】

医薬品として使用される請求項 1 ～ 1 0 のいずれか一項に記載のペプチド又は請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 1 3】

請求項 1 ～ 1 0 のいずれか一項に記載のペプチド及び / 又は請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチドを含み、必要に応じて薬学的に許容される担体及び / 又は希釈剤を更に含む、医薬組成物。

【請求項 1 4】

上皮又は内皮のバリア機能の局所的な又は全身の破壊に関連する疾患又は障害を治療又は予防するのに使用され、

前記疾患又は障害が、急性肺障害 (A L I) 、急性腎障害 (A K I) 、急性呼吸窮迫症候群 (A R D S) 、人工呼吸器誘発肺障害 (V I L I) 、全身性炎症反応症候群 (S I R S) 、敗血症、火傷、多臓器不全症候群 (M O D S) 、及び浮腫からなる群から選択される

、

請求項 1 ～ 1 0 のいずれか一項に記載のペプチド、請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチド、又は請求項 1 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

投与経路が非経口経路又は経口経路である、請求項 1 2 又は 1 4 に記載のペプチド、請求項 1 2 又は 1 4 に記載のポリヌクレオチド、又は請求項 1 3 又は 1 4 に記載の医薬組成物。